

社会貢献も企業の役目

岐阜信金職員ら 聖徳学園大で講演

岐阜市中鵜の岐阜聖徳学園大岐阜キャンパスで16日、同大の学生を対象に岐阜信用金庫などの職員を招いた授業が開かれた。職員は学生に「CSR(企業の社会的責任)や「地方創生」などをテーマに講演した。

同大と産学連携協定を結ぶ同金庫が、県信用保証協会とともに、学生に企業研究などに役立ててもらおうと実施。経済情報学部「職業選択Ⅰ」授業の一環で、2年生約120人が聞き入った。

同金庫営業統括部の西垣和也部長代理が「お客様の満足度を高めるために」と題し、



CSRや地方創生などをテーマに行われた授業。岐阜市中鵜、岐阜聖徳学園大岐阜キャンパス

県内の瓦製造メーカーが瓦の端材を培養土として再生し、地元の幼稚園などで植栽活動に取り組んだ事例を紹介。「企業価値が上がり、利益も増えた。地域貢献は回り回って自社の利益になる」と話した。

(湯浅裕作)